

第 26 回補助事業に関する第三者委員会（令和 2 年 7 月 7 日開催）における委員指摘事項とその対応

指摘事項	対応状況
<令和元年度事業の評価結果等> 【廣岡委員】 ○ 国産乳製品等競争力強化対策事業（国産チーズ競争力支援対策事業）において開催した研修会について、参加者にアンケート調査を行った結果、理解度が目標値とする 70%を下回ったとのことであるが、そもそもなぜ理解度を目標値としたのか。事業としては、研修会に参加して有意義であったと感じてもらうことが重要であるため、むしろ満足度を目標値とするのが妥当ではないか。	令和 2 年度の同研修会については、理解度に関するテストに併せて満足度に関するアンケート調査を実施し、受講者の満足度は各開催とも 8 割を上回った。 【調査結果】 1 基礎研修 第 1 回目：満足度 92%・理解度 86% 第 2 回目：満足度 85%・理解度 67% 2 専門研修 満足度：100%・理解度 74% なお、同研修会を開催した蔵王酪農センターは、令和 2 年度から、理解度の向上のため、講義内容の中でも特に重要な事項や令和元年度のテストで理解度が低かった事項については丁寧に解説し、また、理解度テストの採点結果、正答及び解説を受講者にフィードバックする等の対応を実施。